

開設科目名	疫学特論	科目コード	MNSB510	開設期	1年通年
単位数(履修区分)	2単位(選択)	時間数	30時間(22.5時間)	授業区分	講義・演習
責任者	井手悠一郎	担当者	井手悠一郎、堤千代、伊藤一弥、中村和代、金晟娥		
授業の概要(授業の目的)					
疫学的実践を行う上で必須となる知識を修得する。また各回において提示される内容について考え、疫学的な思考力と判断力を身につける。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
疫学的実践を行う上で必須となる基礎知識を身につける			3.看護実践の追求、7.国際性・学際性の探求		
疫学的思考の必要な場面において、基礎知識に基づいた判断を行うことができる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) ※第9, 12回はZoomによる同時双方向型で実施					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	疫学的思考の紹介、因果関係の推論	講義(面接)	井手	講義内容の復習	4時間
2	疾病発生と因果的効果の測定(1) (割合、率)	講義(面接)	井手	講義内容の復習	4時間
3	疾病発生と因果的効果の測定(2)(比)	講義(面接)	井手	講義内容の復習	4時間
4	研究デザイン(1)(観察研究)	講義(面接)	井手	講義内容の復習	4時間
5	研究デザイン(2)(介入研究)	講義(面接)	井手	講義内容の復習	4時間
6	バイアス・交絡とその制御(1)(バイアス)	講義(面接)	井手	講義内容の復習	4時間
7	バイアス・交絡とその制御(2) (交絡および制御方法)	講義(面接)	井手	講義内容の復習	4時間
8	偶然誤差と統計の役割	演習(面接)	堤・井手	講義内容の復習	4時間
9	多変量解析による交絡の制御	演習(遠隔)	伊藤・井手	講義内容の復習	4時間
10	カテゴリカルデータの検定(1)(Excel)	演習(面接)	堤・井手	講義内容の復習	4時間
11	カテゴリカルデータの検定(2)(JMP,SAS)	演習(面接)	堤・井手	講義内容の復習	4時間
12	交互作用の評価	演習(遠隔)	伊藤・井手	講義内容の復習	4時間
13	パネルデータ、線形混合モデル	演習(面接)	金・井手	講義内容の復習	4時間
14	感度・特異度(ROC解析)	演習(面接)	中村・堤	講義内容の復習	4時間
15	まとめ	講義(面接)	井手	講義内容の復習	4時間
成績評価方法・基準	WebClass上での試験 100% 科目責任者が評価を行います。				
課題に対するフィードバック	単位認定試験の結果は、WebClass上で参照することができます。				
教科書	基礎から学ぶ楽しい疫学。中村好一。医学書院				
参考書・参考文献	ロスマンの疫学。Kenneth J. Rothman。篠原出版新社				
オフィス 学習相談 メッセージ	<p>*連絡先 井手悠一郎(6号館2階 井手悠一郎研究室)、オフィスパワー：火曜16:00~17:00</p> <p>質問については、授業終了後に直接か、メールに宛てて送ってもらうとより確実です。</p> <p>メールアドレスについては、Office 365のアドレスを参照してください。</p> <p>ICTの活用：毎回の授業終了後に、WebClass上で理解度についてのアンケートを行っています。授業終了後には回答の方をどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>上記の単位認定試験は第14回授業終了後に、WebClass上で実施します。出題範囲は、「因果関係の判定、罹患率、罹患率比、オッズ比の計算、疫学用語の理解、研究デザインの種類と特徴、交絡、バイアスの制御」です。これまでの内容を復習の上授業に臨んでください。</p>				

開設科目名	臨床統計特論	科目コード	MNSB511	開設期	1年通年
単位数(履修区分)	2単位(選択)	時間数	30時間(22.5時間)	授業区分	講義・演習
責任者	堤 千代	担当者	堤 千代 井手悠一郎 角間辰之 川口淳 伊藤一弥 他		
授業の概要(授業の目的)					
データを用いたパソコン演習によって統計の基本的知識を理解するとともに、Excel、JMP、SASの操作スキルを習得する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
尺度の種類に応じ、データの特性が記述できる				◎ 8. 専門職業人としての発展	
推測統計の考え方を理解し、尺度の種類に応じた統計手法を選択できる					
Excel、JMP、SASの基本的操作ができる					
多因子解析や多重比較の概念を説明できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) ※面接授業は Teams で遠隔にも同時配信、録画教材による後日受講可能					
回	授業内容	担当者	方法	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	尺度の理解(度数分布とヒストグラム)	堤・井手悠	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
2	一変量の記述統計と図表化	堤・井手悠	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
3	正規分布	堤・井手悠	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
4	二変量の記述統計	堤・井手悠	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
5	推測統計の考え方	堤・井手悠	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
6	連続データの検定(t検定、等分散性の検定)	堤・井手悠	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
7	正規線形回帰分析	伊藤・堤・井手悠	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
8	ロジスティック回帰分析	伊藤・堤・井手悠	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
9	連続データの検定(分散分析、交互作用)	堤・井手悠	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
10	ノンパラメトリック検定	堤・井手悠	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
11	因子分析	角間・堤	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
12	構造方程式モデリング	角間・堤	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
13	対応のあるデータの分析	堤・井手悠	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
14	多重比較	川口・堤	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
15	探索的データ解析	堤	講義・演習 〈面接〉	講義内容の復習	4時間
成績評価方法・基準	WebClass 上での試験 100% (堤)				
課題に対するフィードバック	単位認定試験の結果と解説は、終了後に WebClass 上で参照することができます。				
教科書	新・看護・リハビリ・福祉のための統計学。柳川堯 他、近代科学社				
参考書・参考文献	なし				
オフィス 学習相談 メッセージ	<p>本科目は、社会人履修証明プログラム(データヘルスサイエンス)の一部としても開講しているので、社会人受講者との合同講義となります。毎週水曜 6 限目および、月 1 土曜 1, 2 限目で実施します。</p> <p>面接授業は 242 教室(パソコン室)で行いますので、USB メモリーをご持参ください。パソコンを用いた演習がありますので、復習のためにもノートパソコンをご準備いただき、JMP、SAS のインストールは総務課：清水が真鍋に依頼してください。</p> <p>堤千代 オフィスアワー(水) 17:00~17:30 2号館 220 室 <a href="mailto:tsutsumi@stmaryacjp.onmicrosoft.com">tsutsumi@stmaryacjp.onmicrosoft.com</a></p> <p>疫学特論、データヘルスサイエンス看護学特論 I・II と並行し、関連しながら進みますので、本科目単独の履修はお勧めしません。</p> <p>※ CNS コースの方は、実習優先のため、履修できない時期に授業が入ることがありますのでご注意ください。</p> <p>私の研究分野は、看護におけるバイオ統計学の応用です。これまで研究で用いた方法について、授業全般を通して教授します。</p>				

開設科目名	データヘルスサイエンス看護学特論 I (履修証明プログラム科目名: 文献講読演習)	科目コード	MNSB512	開設期	1年通年
単位数(履修区分)	2単位(選択)	時間数	30時間(22.5時間)	授業区分	講義・演習
責任者	井手悠一郎	担当者	井手悠一郎、中村和代、眞崎直子、清原裕、原めぐみ、室谷健太、金晟娥		
授業の概要(授業の目的)					
文献検索とクリティークの手法を学び、著名な研究論文を読解し、批判的思考を身につける。多様な領域における先行研究から、適切な研究手法と研究意義を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
文献検索ができる			4.看護実践の追及		
指定された論文のクリティークができる			4.看護実践の追及		
著名な先行研究から研究手法と研究意義を理解することができる			7.国際性、学際性の探求		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) ※第6, 7, 8, 9, 10, 11回はZoomによる同時双方向型で実施					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	文献講読演習(1)(文献の検索)	講義・個人ワーク(面接)	井手悠	各自の選択した論文の講読	4時間
2	文献のクリティーク(1) (講義、個人ワーク)	講義・個人ワーク(面接)	中村	講義内容の復習	4時間
3	文献のクリティーク(2)(個人ワーク)	個人ワーク(面接)	中村	講義内容の復習	4時間
4	文献のクリティーク(3)(発表)	発表(面接)	中村	講義内容の復習	4時間
5	文献講読演習(2)(文献の選定)	個人ワーク(面接)	井手悠	各自の選択した論文の講読	4時間
6	久山町研究(1) (立ち上げと発展の歴史)	講義(遠隔)	清原	講義内容の復習	4時間
7	久山町研究(2)(新しい健康問題)	講義(遠隔)	清原	講義内容の復習	4時間
8	文献における統計の見方(1)	講義(遠隔)	室谷	講義内容の復習	4時間
9	文献における統計の見方(2)	講義(遠隔)	室谷	講義内容の復習	4時間
10	地域保健に関する研究(1) (ワクチン研究)	講義(遠隔)	原	講義内容の復習	4時間
11	地域保健に関する研究(2) (J-Micc Study)	講義(遠隔)	原	講義内容の復習	4時間
12	医療・介護レセプトデータを用いた医療統計 研究の事例紹介	講義(面接)	金	講義内容の復習	4時間
13	文献講読演習(3)(発表資料作成)	個人ワーク(面接)	井手悠	発表資料の作成	4時間
14	地域のデータ分析	講義(遠隔)	眞崎	講義内容の復習	4時間
15	発表	発表(面接)	井手悠	講義内容の復習	4時間
成績評価方法・基準	論文講読演習の成果物 100% 科目責任者が評価を行います。				
課題に対するフィードバック	単位認定希望者に対しては、上記提出物の評価結果をWebClass上で開示します。				
教科書	指定なし				
参考書・参考文献	適宜参考書を紹介します				
オフィス 学習相談 メッセージ	*連絡先 井手悠一郎(6号館2階 井手悠一郎研究室)、オフィスアワー: 火曜 16:00~17:00 質問については、授業終了後に直接か、メールに宛てて送ってもらうとより確実です。 メールアドレスについては、Office 365のアドレスを参照してください。 ICTの活用: 毎回の授業終了後に、WebClass上で理解度についてのアンケートを行っています。授業終了後には回答の方を どうぞよろしくお願いいたします。 論文講読演習の成果物の提出はWebClass上で行います。 (履修証明プログラムにおいて、本科目は文献講読演習として開講します。)				

開設科目名	データヘルスサイエンス看護学特論Ⅱ (履修証明プログラム科目名: 研究実践方法論)	科目コード	MNSB513	開設期	1年通年
単位数(履修区分)	2単位(選択)	時間数	30時間(22.5時間)	授業区分	講義・演習
責任者	堤 千代	担当者	堤 千代 中村和代 井手悠一郎 桃井雅子 川口淳 舩田亮太 泉賢祐		
授業の概要(授業の目的)					
自身の臨床疑問をリサーチクエストに構造化する思考を養う。研究課題にそつ適切な研究手法を選択し、倫理に配慮した研究計画を策定する過程を学ぶ。信頼性と妥当性の観点から適切な質問紙調査の方法を理解し、尺度開発の方法を理解する。データを用いた演習を通して、Excel、JMP、SASの基本的操作を学び、研究実践の基礎を身につける。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
自分の課題について、必要なポイントをふまえた研究計画書を作成できる			◎ 8. 専門職業人としての発展		
研究倫理を理解し、倫理に配慮できる態度を身につける					
信頼性と妥当性の観点から、適切な質問紙調査法を考へることができる					
Excel、JMPの基本操作と、SASを用いた基本的なプログラミングができる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) ※面接授業は Teams で遠隔にも同時配信、録画教材による後日受講可能					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	科目ガイダンスと統計ソフトのセットアップ	講義 <面接>	堤・井手	臨床疑問について考えておく	4時間
2	研究方法計画書の概要	講義 <面接>	中村・堤	自分の研究課題について考えテーマを提出する	4時間
3	リサーチクエストの構造化	講義・演習 <面接>	堤	PICOを考へ webclass に提出する	4時間
4	研究計画書作成演習	発表・討議 <面接>	中村・堤	自分の研究テーマを再考する	4時間
5	SASプログラミング	講義・演習 <面接>	堤・井手	パソコン演習内容の復習	4時間
6	研究計画素案発表とディスカッション	発表・討議 <面接>	中村・堤	意見を受けて、研究計画書を修正する	4時間
7	研究者の倫理と倫理的配慮	講義 <面接>	桃井	講義内容の復習	4時間
8	データマネジメント	講義・演習 <面接>	堤	演習内容の復習	4時間
9	質問紙調査	講義 <面接>	泉・堤	講義内容の復習	4時間
10	研究計画書中間発表	発表・講義 <面接>	堤・中村	作成した研究計画書の途中までを提出する	4時間
11	尺度開発	講義 <面接>	舩田・堤	講義内容の復習	4時間
12	尺度の信頼性と妥当性	講義 <面接>	舩田・堤	演習内容の復習	4時間
13	サンプルサイズの設定	講義・演習 <面接>	川口・堤	講義内容の復習	4時間
14	介入研究の工夫	講義 <面接>	堤	講義内容の復習	4時間
15	研究計画書発表	発表・討議 <面接>	堤・中村	発表準備	4時間
成績評価方法・基準	自身の臨床疑問を明確化し、研究計画書を作成して発表する 100% (堤)				
課題に対するフィードバック	提出された授業内の課題は、授業内または webclass のマイルポートでコメントを返します。 研究計画については、中間発表、最終発表の回で発表された内容について、ディスカッションを通じてフィードバックを行います。				
教科書	看護リハビリ福祉のための統計学。柳川亮 他。近代科学社				
参考書・参考文献	リサーチ・クエストの作り方。福原俊一。健康医療評価研究機構				
ワイアワー 学習相談 メッセージ	<p>本科目は、社会人履修証明プログラム(データヘルスサイエンス)の一部としても開講していますので、社会人受講者との合同講義となります。毎週水曜 6 限目および、月 1 土曜 1, 2 限目で実施します。</p> <p>面接授業は 242 教室(パソコン室)で行いますので、USB メモリーをご持参ください。パソコンを用いた演習がありますので、復習のためにもノートパソコンをご準備いただき、JMP、SAS のインストールは総務課: 清水が真鍋に依頼してください。</p> <p>堤千代 オフィスアワー(水) 17:00~17:30 2号館 220 室 tsutsumi@stmaryacjp.onmicrosoft.com</p> <p>※ 疫学特論、臨床統計特論、データヘルスサイエンス看護学特論Ⅰと並行し、関連しながら進みますので、本科目単独の履修はお勧めしません。</p> <p>※ CNS コースの方は、実習優先のため、履修できない時期に授業が入ることがありますのでご注意ください。</p> <p>私の研究分野は、看護におけるバイオ統計学の応用です。これまで研究で用いた方法について、授業全般を通して教授します。</p>				